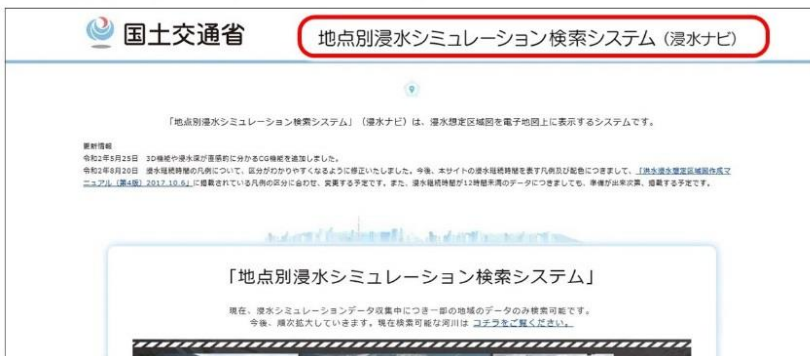


## 浸水想定に関する新たな情報提供について

(10月末に、明らかになった内容で、ワークショップ参加者の方々へご説明したものです)

「基本構想」において、新庁舎の建設予定地としてお示した「ラディアン周辺」が、洪水浸水想定区域に入っている部分があることから、浸水高さの詳細や浸水が続く時間の詳細や、浸水が引いた後の状況についてご質問をいただいております。

今回、国土交通省ホームページの「地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)」を使うことで、詳細が明らかになりましたのでお知らせします。



※「浸水ナビ」で検索できますが、町のホームページでも内容をまとめましたので、お知らせしています。



### 町営第一駐車場付近におけるシミュレーション結果(抜粋)

想定降雨量	降雨開始から		最大浸水高さ
	ピークまでの時間	0mに戻る時間	
計画規模(1/50年確率、94mm/時間想定)	—	—	浸水なし
想定最大規模(1/1000年確率、152mm/時間想定)	90分後	150分後	0.97m

また、二宮町内には「家屋倒壊等氾濫想定区域」に指定された区域が無いことから、家屋が土砂等で押し流されるような浸水は生じないこと、浸水後に土砂まみれで道路が使用できなくなるような事態は生じないことが分かりました(一時的な水位上昇が生じる場合があるものの、時間の経過と共に水位が下がる動き)

神奈川県による「河川の氾濫による洪水浸水想定区域図」  
→ 葛川水系葛川 「家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)」をご参照ください。

